

(様式3)

令和4年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	伊勢市生涯学習センター	所在地	伊勢市黒瀬町562-12
指定管理者名	特定非営利活動法人 まなびの広場	指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
設置目的	市民の生涯にわたり学習を促進し、市民文化の充実振興を資するため		
業務内容	・各施設の貸し出し業務 ・センター講座の開講 ・各種イベント実施(公開講座・子ども向けイベント・生涯学習フェスティバル等)		
施設概要	敷地面積:40788㎡コンクリート一部鉄骨造り3階建て、多目的ホール、会議室等		
職員体制	センター長1名・センター長補佐1名、職員6名、パート2名、理事1名		
施設所管課名	社会教育課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	比較(C-B)
事業 収支	収入				
	指定管理料	76,725,000	76,725,000	78,885,078	2,160,078
	利用料金	8,505,522	18,367,230	11,563,720	△ 6,803,510
	その他	3,471,292	3,249,509	5,197,328	1,947,819
	計(a)	88,701,814	98,341,739	95,646,126	△ 2,695,613
	支出				
	人件費	34,069,414	34,286,758	33,216,085	△ 1,070,673
	管理運営費	57,521,210	61,999,274	68,829,440	6,830,166
その他	2,096,500	2,409,862	2,429,578	19,716	
計(b)	93,687,124	98,695,894	104,475,103	5,779,209	
収支差引額(a)-(b)		△ 4,985,310	△ 354,155	△ 8,828,977	△ 8,474,822

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	収入減について コロナ禍の影響で大きなイベントの利用が回復していないためだと考えられる。 支出増加について 電気料金等の高騰のためと考えられる。
----------------------------------	---

3 評価 (様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
R4年度はコロナ禍の影響は続いていたものの、計画したすべての事業は実施することができた。 インターネットの技術を利用した事業も模索中であり、一部実施することができた。	施設の管理運営については適正に行われていた。コロナ禍の影響が残る中、イベントや講座等を滞りなく実施できている。 また、災害時における避難所開設時には、市と連携を図り、非常時に対する利用者及び地域住民の安全に配慮した運営がされている。 今後も引き続き、効率的、効果的な管理運営に努め、各協力団体や行政との連携を密に図りながら、より質の高いサービスを提供していただきたい。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

施設名

伊勢市生涯学習センター

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	施設設置目的に基づき、まなびの場・交流の場を提供できるように管理運に努めた。	A	施設の目的や基本方針については、事業計画書においても十分理解し運営されていた。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	A	管理運営を通して、施設の目的である「学び、集い、交流を楽しむ生涯学習の推進」に努めた。	A	施設の管理運営状況から施設の目的は達成できた。
	③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	B	新型コロナウイルスの影響が、依然残り、多目的ホールでのイベント等が以前より少ないのと、講座の定員も少なくしている。	B	コロナ禍による利用者の意識の変化も大きく影響されている中、ニーズに沿った講座を企画するなど目標達成に努めた。
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	事業計画書とおりの供用日数・時間帯を守り、施設運営に努めた。	A	事業計画書に基づいた運営が行われた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	作業責任者・業務担当者を明確にして、適正な配置・勤務実績により適切な業務遂行ができた。	A	職員配置計画に基づき、効率化を図りながら業務が遂行されていた。
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	事業計画書に示した業務および管理運営に関する諸事象について、社会教育課と適切な連絡調整を行った。	A	適宜、状況に応じた連絡調整が行われていた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	各種業務計画書・点検記録・修繕記録等の各所設備・保管について適切に行った。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がされていた。
	⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図られていたか。	A	各種、ボランティアと協同で自主事業を行い、利用者と協同で成果発表会を実施した。	A	新型コロナ感染予防のため、イベントの実施が危ぶまれている中、工夫しつつ地域の振興への取り組みが行われていた。
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	A	使用許可等申請の扱いは適正に行った。	A	使用許可書等申請の取扱は適正に行われていた。
	⑩利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	各種の帳簿等は漏れなく、適正に作成し、厳重管理に努めた。	A	帳簿等は適正に作成され、整理も行われていた。
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	個人情報の取扱いについては、全職員が研修で学び、日々の事務処理等、適正な取扱いに努めた。	A	適切に処理されており、個人情報漏洩などの問題も発生していない。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	社会教育法および伊勢市の関連条例等(伊勢市生涯学習センター条例等)について研修で学ぶとともに各種法令の順守に努めた。	A	関係法令を遵守し、法令違反は見受けられなかった。

指定管理業務の項目別評価表

施設名

伊勢市生涯学習センター

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	研修室のカーベットの張替を行った。PAYPAYを導入し、キャッシュレス決済にも対応した。	A	利用者への利便性向上や増加に向けた取り組みが積極的に行われていた。
	②利用者の平等な利用	A	サービスの水準の確保および向上のための研修を重ねるとともに、日々の窓口対応等で、職員間の研修を重ねた。	A	サービス水準については、期待される水準にあった。
	③適切な情報提供	A	館内の情報コーナーに月ごとのイベント情報を提供した。またホームページ上にも同様の情報を発信した。	A	ホームページや広報いせなどを活用し、適切な情報提供がされていた。
	④非常時・緊急時の対応	A	緊急時のマニュアルを作成し、研修を行った。(地震・火災の総合訓練)救急車を要請することも年に複数回あるので、その都度フィードバックしている。	A	緊急時のマニュアルを整備し、避難訓練も実施されている。
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	適切に対応されており、大きな問題となることはなかった。
	⑥自主事業	A	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	アンケートなどで利用者のニーズを探り、新規講座の開講など、自主事業に積極的に取り組んでいる。
	⑦事業の評価	A	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	指定管理者側での確認、見直しが行われている。また、伊勢市と情報交換し、連携を図りながら各種事業に取り組んだ。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	定期的に施設の安全点検・機能点検・美観確認を行い、必要に応じて保持に努めた。	A	定期的な点検、確認が行われており、記録もなされている。
	②備品等の管理	A	設備・備品については丁寧な扱いを心掛け、点検・保守については点検業者と連携し、適切に行った。	A	破損や紛失がなく、適正に管理されていた。
	③修繕業務	A	点検によって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	対応は適正であり、伊勢市への報告も迅速であった。
	④清掃業務	A	清掃は適切に行なわれていたか。	A	予定通りの清掃が行われた。
	⑤防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵の管理は適正に行われていた。戸締り等、防犯に関するトラブルも発生しなかった。